

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		救急救命士等研修訓練事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
令和3年度決算額		4,357	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	70	千円				
	一般財源	4,287	千円				
事業費（総計）		11,400	千円				
決算額		4,357	千円				
人件費		7,043	千円	総合評価	A		
事業の目的		年次計画に基づき、救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成 ・大型自動車運転免許資格者養成 ・大型特殊自動車運転資格者養成 					
実施結果 (活動指標)							指標名
		救急救命士養成		人	1	1	1
		大型自動車運転免許資格者養成		人	5	5	5
		大型特殊自動車運転資格者養成		人	1	1	1
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				消防活動等に必要な資格者等を養成し、強固な消防体制の運用を図っているため「4」としました。	
効率性		●				他の職員へも知識、技術を伝承することにより、効率的な消防活動等を行うことができていたため「4」としました。	
公平性		●				計画的な資格者等の養成により市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。	
将来性		●				消防体制の維持、強化のために計画的に資格者等の養成を実施することにより、市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。	
総合評価		A		免許、資格を有する職員は、市民の安心・安全には欠かすことができず、今後も養成を継続したいと考えています。			
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		緊急消防援助隊合同訓練事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和3年度決算額	348	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	348	千円								
事業費（総計）	7,391	千円									
決算額	348	千円									
人件費	7,043	千円									
事業の目的	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・北海道東北ブロック合同訓練 ・全国合同訓練（令和4年度に延期） 										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度					
	北海道東北ブロック合同訓練		回	1	0	0					
	全国合同訓練		回	延期	0	0					
項目評価	高→低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため「4」としました。		
	効率性	●							部内で知識、技術の伝承をすることで、質の高い隊・車両の編成、運用を行っているため「4」としました。		
	公平性	●							北海道、東北及び新潟を含めた8道県で年度ごとに持ち回りで実施し、大規模・特殊災害に、迅速かつ確な対応が出来るよう実施しているため「4」としました。		
将来性	●				緊急消防援助隊合同訓練に参加することで、有事の際の迅速な活動につながるため「4」としました。						
総合評価	A				新型コロナウイルス感染症の影響により一部訓練が延期になりましたが、多様化する災害から市民の安心・安全を守るために、計画的に訓練へ参加し、技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010103

事業名		感染症患者対応資器材整備事業【繰越明許】		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和3年度決算額		11,471	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	7,695	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	3,776	千円								
事業費（総計）		18,514	千円								
決算額		11,471	千円								
人件費		7,043	千円	総合評価	A						
事業の目的		新型コロナウイルス感染症陽性者の救急搬送時における、同乗する家族等の2次感染防止を図るとともに、搬送後の救急車内の消毒時間を短縮し、消防体制の維持を図ります。									
事業の内容		SDGs17の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症患者対応資器材（ポータブルアイソレータ）の購入 									
実施結果（活動指標）											
		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
		感染症患者対応資器材		台	6	0	0				
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							事業の目的を果たしているため「4」としました。		
効率性		●							導入費用は高額であるものの、導入による効果が高いため「4」としました。		
公平性		●							救急搬送する感染症陽性者全員に対し使用できるため「4」としました。		
将来性		●				新型コロナウイルス感染症の終息後も、新興感染症の発生に対応できるため「4」としました。					
総合評価		A				資器材を導入することで、救急現場から病院までの間に同乗する家族・関係者・救急隊員への2次感染を防ぐことができ、消防体制の維持に必要不可欠です。よって、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		消防団活性化事業		担当部署	消防本部 総務課			
根拠法令		消防法						
令和3年度決算額		1,103	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	1,103	千円					
事業費（総計）		3,216	千円					
決算額		1,103	千円					
人件費		2,113	千円					
事業の目的		消防団員の消防技術の向上を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・多数傷病者事故対応訓練（訓練規模縮小により不参加） ・苫小牧市総合防災訓練（訓練規模縮小により不参加） ・胆振地方消防訓練大会（訓練大会に向けた個別訓練を実施） 						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		多数傷病者事故対応訓練			回	不参加	0	1
		苫小牧市総合防災訓練			回	不参加	0	1
		胆振地方消防訓練大会			回	中止	0	0
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				個別訓練の実施により、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができたため、「4」としました。		
効率性		●				消防団員の費用弁償と人件費が事業費の大半を占めており、必要最低限の経費で事業を実施しているため、「4」としました。		
公平性		●				個別訓練の実施により、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができたため、「4」としました。		
将来性		●				継続した事業実施により、消防団員の消防技術のさらなる向上が期待できるため「4」としました。		
総合評価		A				今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により各種訓練等は中止または訓練規模縮小により不参加となりましたが、個別訓練の実施により消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。		
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		消防施設・装備等整備事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
令和3年度決算額	92,849	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	64,330	千円						
	地方債		千円						
	その他	8,349	千円						
	一般財源	20,170	千円						
事業費（総計）	103,414	千円							
決算額	92,849	千円							
人件費	10,565	千円							
事業の目的	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資機材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用備蓄資機材の購入 ・末広出張所非常用発電機整備 ・指令設備等非常用バッテリーの更新 ・消火栓の新設 ・防火水槽の新設 ・感染防止衣の更新 ・安全帯の更新 ・救急資機材の更新 ・消防用ホースの更新 ・J-ALERT管理用PCの更新 ・ドローンの購入 ・特殊防火衣（耐熱服）の更新 								
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	消火栓			基	6	3	0		
	救急資機材			式	2	1	1		
	消防用ホース			本	130	122	130		
項目評価	高→低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							消防活動等に必要な施設・装備等を更新し、強固な消防体制の運用を図っているため「4」としました。
	効率性	●							最新の施設・装備等を導入することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため「4」としました。
	公平性	●							計画的な施設・装備等の更新により市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。
将来性	●				消防体制の維持、強化のために計画的に施設・装備等の更新を実施することにより、市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。				
総合評価	A				老朽化した施設・装備等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。				
特記事項									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		消防車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課			
根拠法令		消防法						
令和3年度決算額		102,069	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金	92,073	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	9,996	千円					
事業費（総計）		109,112	千円					
決算額		102,069	千円					
人件費		7,043	千円					
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した消防車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標		 <ul style="list-style-type: none"> ・化学消防ポンプ自動車の更新（沼ノ端1号） ・小型動力ポンプ積載車の更新（住吉分団号、日新分団号） 						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		化学消防ポンプ自動車		台	1	1	1	
		小型動力ポンプ積載車		台	2	0	0	
項目評価		高→低 4 3 2 1				評価の理由		
有効性		●				老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため「4」としました。		
効率性		●				車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため「4」としました。		
公平性		●				計画的な消防車両の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため「4」としました。		
将来性		●				最新の車両を導入することにより、消防力が増強し市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。		
総合評価		A				老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。		
特記事項								